

## 「主な取組」検証票

施策展開	5-(6)-ア	県民生活を支える人材育成			
施策	③警察・消防・救急従事者の育成				
(施策の小項目)	○警察官の育成				
主な取組	警察基盤整備事業	実施計画 記載頁	387		
対応する 主な課題	○犯罪のグローバル化、情報通信技術の発達等による犯行形態の多様化、広域化などに迅速・的確に対応できる人材が求められている。				

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向けた強い警察基盤を確立するため、各種専科教養により警察官の資質の向上を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体  県
	582人 専科受講 者数	500人			→	→	
	警察学校等における専科開講、研修派遣、技能伝承等						
担当部課	警察本部警務部教養課、刑事部刑事企画課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
①運営活動費(各種教養・研修への派遣) ②職員費(捜査技能伝承官)	①23,720 ②2,353	①14,410 ②2,353	各管区警察学校(160名)、警察大学校(84名)への職員の派遣 県警察学校における専科教養(571名) 捜査技能伝承官による若手警察官・捜査員に対する捜査技能の伝承	県単等
活動指標名			計画値	実績値
専科受講者数			500人	571人
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	専科受講者数につき、計画値500人に対し、571人が各種専科を受講した。県内外での専科等教養に職員を派遣し、各分野におけるエキスパートを育成したほか、捜査技能伝承官による若手警察官・捜査員に対する指導等により捜査技能の伝承が図られた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
①運営活動費(各種教養・研修への派遣) ②職員費(捜査技能伝承官)	①22,080 ②2,317	警察大学校及び各管区警察学校等への警察職員を派遣し、階級に応じて必要な知識及び技能の修得、国際化や犯罪の多様化等に対応するため特定分野に関する専門的知識及び技能の修得を図る 若手警察官・捜査員に対する捜査技能の伝承	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

治安情勢に応じた教養内容の見直しを実施するとともに、捜査技能伝承官による捜査技能の伝承を継続したことにより、各分野におけるエキスパートを育成した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明	各種教養等によりエキスパートの育成、捜査技能の伝承等が図られているところであるが、大量退職、大量採用期が続くことから、引き続き取組を推進する。
------	---

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・現在、大量退職、大量採用期にあり、豊富な経験、高度な知識、技能を有するベテラン捜査員が退職していく一方で、若手警察官が増加している状況にあることから、各種技能の伝承が課題である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・各種専科教養の継続実施のほか、捜査技能伝承官による技能伝承が必要である。  
・精強な警察官を育成するための教養を実施する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・警察学校における各種専科教養を継続し、治安情勢に応じ随時、教養内容の見直しを図るとともに、技能伝承官を活用した捜査技能の伝承を継続的に推進する。